

令和2（2020）年度

地域学校協働活動推進員養成研修③ 実施報告

実施日：令和2（2020）年8月25日（火）

地域学校協働活動推進員養成研修（第3回）は、受講者が自身のコーディネーションや活動を振り返りながら、地域学校協働活動推進員として必要となる「ボランティア・マネジメント」「プロジェクトマネジメント」について、理解を深めていきました。

講話・演習「ボランティアコーディネーションの技法」

NPO 法人 まなびのたねネットワーク

代表理事 伊勢 みゆき 氏

伊勢氏は、学校教育支援と社会教育支援を通して、青少年育成と市民が育つ地域社会づくりに寄与することを目的に、仙台を拠点に子供も大人も主体的に学び、育つ環境づくりを進めているNPO法人まなびのたねネットワークの代表理事を務めています。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に留意し、対話やワークを取り入れながら講義を進めていただきました。



○午前〈10:05～12:00〉

- コミュニケーションカードを用いた自己紹介
- 子供たちの今と未来の姿(25歳 / 12歳 / 現在)
- これからの子供たちに必要なこと



地域学校協働活動を進めるには、地域のいろいろな方々とコミュニケーションを図りながら、コーディネートをしていくことが大切です。そこで最初に、自分のことやコミュニケーションの行動傾向を知ることがねらいとして、コミュニケーションカードを用いた自己紹介を行いました。その後、自分と相手の行動傾向を自覚した円滑なコミュニケーションによってスムーズなコーディネートにつながることを、自らの体験を基にお話いただきました。

次に、受講者それぞれが、関わっている子供たちの25歳、15歳、現在の姿をイメージして、ワークシートに書き出しました。その後グループ内で共有することで、同じようにコーディネートに携わっていても、それぞれがイメージする姿に違いがあることに気づきました。「子供たちにこうなってほしい」という目標がずれると、今の活動で何を大切にしなければならないか、新たにどんな活動に取り組むべきかなどに、違いが生まれてしまうことにも気づきました。伊勢氏からは、活動を共にする

仲間同士はもちろんのこと、地域と学校がどんな子供を育てたいのかについて共有することが重要であるとお話いただきました。

また、Society5.0の話題から、急速な社会変化の中にある子供たちが大きく成長していくためには、学校の授業だけでは十分といえない状況にあり、学校、家庭、地域が一体となって子供たちを育む必要性についてもお話いただきました。

受講者は、改めて自身の活動の意義を確認できたようです。

○午後〈13:00～15:20〉

- ボランティア・マネジメント
- プロジェクト・マネジメント

ミラーストレッチのアイスブレイクから、午後の講座がスタートしました。

午後は、コーディネーターとして活動するために、ボランティア・マネジメントについて理解を深めることをねらいとして、講義を進めていただきました。

最初に、自らが携わっているボランティアコーディネートの流れをワークシートに書き出しました。それを基に意見交換したり、他者のワークシートを見て回ったりし、自分のコーディネートに足りないことや大切にすべきポイントなどを確認しました。その上で、伊勢氏は、ボランティアをしたいという人たちの思いを、学校側からの要望と上手につなぐことがコーディネーターの役割であると強調されました。

最後に、プロジェクト・マネジメントにもふれ、関わる活動を「プロジェクト」と捉えて、始めから終わりまでを管理する考え方についてご説明いただきました。また、「笑顔の大切さ」にも言及され、受講者にエールを送られました。



参考 ミラーストレッチ



午後に行ったアイスブレイク「ミラーストレッチ」。新型コロナウイルス感染拡大防止の上でも、相手との距離を確保すればできる取り組みやすいアイスブレイクです。

以下が、その手順となります。

＝手順＝

- ①2人組になりジャンケンをして、勝った人は自分からストレッチをする側に、負けた人は相手のストレッチをまねする側になります。
- ②勝った人は、その場で体を伸ばしたり曲げたり、座ったりなどのストレッチをします。負けた人は、その動きをまねします。

ゆったりとした流れで、場面によって使いやすいアイスブレイクです。ファシリテーターがストレッチをする側で、参加者全員がまねする側にしてみたり、まねする側は表情もまねしてみたりなど、目的によってアレンジもできます。ぜひ、活用してみてください！

衝立を挟んで の意見交換



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者同士の距離を確保して、接触や密な状況等を避けながら、講話・演習を実施しました。

研修方法を工夫しながらの運営となっていますが、受講者に御理解をいただきながら研修を実施しております。今後も状況に応じた研修を実施してまいりますので、引き続き御協力をお願いいたします。



【受講者の感想から】

- コミュニケーションを大切にするために、自分のこと、一緒にいる人のことを理解する意味を改めて勉強できました。
- どんな子供、大人に育てたいか共有することの大切さが分かりました。
- コーディネーターの仕事を論理的に学べて、整理することができました。
- 目指すべきビジョンがどんどん明確になってきました。
- ボランティアの方へ、もっとお礼の言葉を届けたいと思いました。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp